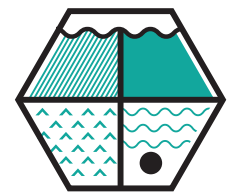


神戸から淀江へ！自然満喫キャンプ



淀江の宿 今津田中家 瓦版

第19号

2024.10 発行

星空！

鳥取での3日間は何れも素敵で素晴らしい体験だった。その中でも特に印象深かったのは鳥取の星空である。

天候にも恵まれ、神戸では見られないような満天の星空を見ることができた。フラネタリウム（真）のような感じで、いつも見ている夜空より5倍くらい高く広く見えた。散歩をしている間の20分はほぼ上を向いていたので、宿に帰るころには首がバッキバキに。自身の首の限界を知るいい機会になったと思う。

ただ一つ悔しかったのは、全く星座や星に関する知識が無かったこと。夏の三大角すら分からず星をただ眺めるだけになってしまった。予備知識があればもっと楽しめた筈だったのに。というか、星座早見盤を持って行けばよかった。あれがアンタレスでそれがアルデバラン。とか言いたかった！

この小さな悔しさを胸に、来年こそ鳥取で星空観察にリベンジを果たしたいと思う。

思うよりやってみる

ほかがいちばんいんしょうにのっているのがシャワークライミングです。シャワークライミングをするまえは、

笑顔あふれるサマーキャンプ

昨年に引き続き、今津田中家をベースに、この土地を愛し、根ざして生きる人たちに支えられながら、2泊3日のキャンプを終えました。

縁あって昨年よりこちらでサマーキャンプを実施させていただいております。神戸の学習塾セカンドホームです。おうちのような空間で安心して成長する。がモットーのわが校。みなさんのおかげで、子どもたちは居心地のいい新たなホームでたくさんの成長の種を持ち帰っています。それを証拠に昨年からのリピート率100%！新たな仲間も加わって、小学2年生から高校1年生まで総勢12名で笑顔あふれる3日間を満喫しました。

自然の恵みに感謝すること、経験を積み重ねること得られる学び、人と人が協力して繰り広げられる日々の営み。移り変わりの速い都会暮らしでつい忘れてしまいうことになる大切なことを全身で受けとめた子どもたちの感想をどうぞご覧ください。

成長できた人生の二回目

私はシャワークライミングをするのは人生二回目です。ごく水が冷たかった事や一年前に見た虫もいまだ慣れていないこともあったけど、つかさきもあつて楽しかったです。そして自分でも成長したなと感じたところが二つあります。

一つ目が少し早く行動できたことで少し成長したかなと感じられたこと。

二つ目は一年前にはあんまり川の水に慣れることができなかったけど、今年は体全体でつかれたり、長い時間水の中にいられて少し耐性がついたのかな？と思いました。それも少し成長できたのかなと感じました。

最後に私にとってシャワークライミングは自然を沢山感じられる経験でもあると思うし、自然がどれだけ大切かを知れるいい体験だと思います。来年もまた行ってみたいです。

(ののこ)

連載「淀江プロジェクト」物語 [第十八話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第18話：出張おむすび屋ひとむすび、脩の参戦、勇太朗・庭師になる

出張おむすび屋ひとむすびでお迎え

2018年の年の瀬クリスマススイブの前日に第1弾がスタートした「淀江プロジェクト」。2019年1月下旬に第2弾3月下旬に第3弾、5月に第4弾、7月に第5弾を実施して、片付けから解体、そして再生へとフェーズが進んでいった。その2か月後の2019年9月23日(月)〜30日(月)の8日間で、淀江プロジェクト第6弾を実施することとなった。

9月23日が父の3回忌で、洋子と、弟の衆とその妻篤子さんは21日(土)から淀江入りした。22日(日)には東京から洋子の息子義邦がやってきた。

23日(月)のお昼ご飯は、店舗を持たずイベントなどに出演している「おむすび屋ひとむすび」のおにぎりくん(6月にデンマーク人やコブくんが来た時におむすびを握ってくれた)に出張おむすび屋をお願いしていた。

鳥取のメンバー、そして遅れて関西のメンバーが続々とやってきて、どれもこれも魅力的な8種類のおむすびからそれぞれが好みのものを注文して、美味しく戴く。洋子家族とも会話が済み、プロジェクトは楽しいスタートとなった。

脩の参戦で電気工事が進む！

今回の淀江プロジェクト第6弾 今までの参戦者10名

- ★鳥取市浜村から
- 翔太郎(宮原翔太郎)さん
- やつだ(八田公平)さん
- ゆかちゃん(井川友香)さん
- ★鳥取県西部から
- おにぎりくん(小橋俊哉)さん
- もりさと(森田悟史)さん
- ゆっぺい(河津優平)さん
- てるちゃん(吉田輝子)さん
- ★関西から
- 姐さん(サハラクミコ)さん
- しょうさち(野崎将太)さん
- 勇太朗(河合勇太朗)さん

新たな2名

- ★鳥取市浜村から
- パーリー建築を浜村に呼び寄せた
- 中田(中田啓介)さん
- ★京都から
- 電気工事士の資格を持つ
- しゅう(大木脩)さん

洋子は23日(月)に皆を迎え入れた後、仕事のため24日(火)には大阪に帰ってしまったのだが、賄い飯を作りつづけてくれた姐さん(サハラクミコ)さんが工事の様子を都度都度洋子に伝えてくれた。今回は洋子不在の中、キッチンやその隣の洋室の国道9号線側を大きい窓に替えるために開口、しゅう(大木脩)さんの参戦で、電気工事も進み、床工事や左官工事なども着々と進んでいった。

勇太朗庭師になる！

今回は裏庭の整備も行われ、木が切られ、砂利が敷かれた。

約50年前、洋子の弟衆が幼い頃にダイニングで食べたビワの実の種を窓から裏庭にポイッと捨てた、その種から育ったビワの木はデッキを設置する予定地にあったが、思い出の木として残すこととなった。

第2弾の際に参戦してくれた勇太朗(河合勇太朗)さんは、今回は裏庭の整備を中心にやってくれた。自分の今後の進路について悩んでいて、姐さん(サハラクミコ)さんにいろいろと相談したそう、最終日に皆に「庭師になる！」と宣言した・ということだった。

洋子は10月上旬まで、M社のシステム構築、E社新工場のお披露目の準備、滋賀での女性向け創業セミナーでの経営ゲーム講師など、大阪で怒涛の仕事があり、最終日にも帰って確認することが出来なかったのだが、姐さん(サハラクミコ)さんはじめ、参戦してくれた皆さんのおかげで、工事は順調に進み、素敵な空間が出来上がっていった。

― 第十九話に続く ―

作者・田中洋子

俳ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてリターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

[第18話]



淀江の宿
今津田中家
=IMAZU-TANAKA-YA=



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL : 0859-30-3889
www.imazutanakaya.com

今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント
お店のポイントが貯まる！



オーダーメイド学習塾 SECOND HOME (セカホ)



SECOND HOME
兵庫県神戸市灘区日尾町2-2-11 六甲第2ビル2階南
TEL09042747861

安心できる場所があるからこそ子どもたちは成長する。一人ひとりに徹底的に寄り添い、やりたい！を全力で支えるオーダーメイド学習塾です。

日々の学習のサポートはもちろん、子どもたちの夢をかなえるお手伝いも行います。キャンプやシーズンスクール、ワクワクあふれるイベントを開催。普段できない経験や出会いを通じて、視野を広げ自国のまた異文化への理解を深めることを大切にしています。

誰もが笑顔あふれる日々を過ごせるよう“2つめのおうち”セカホは、今日も温かい居場所で子どもたちの帰りを待っています。

手刈り・はで掛け

日時 稲刈り 10月5日(土)・はで掛け・手刈り 8日(火)
10:00～13:00 ※荒天の場合延期

参加費 1,000円 ※中学生以下無料

当日の昼食・デザート付 / 脱穀後にもち米 or きぬむすめ いずれかのお米 1升プレゼント

脱穀(最新の脱穀機・足踏み脱穀機や唐箕を使用)

日時 10月22日(火)以降 快晴が続いた後の日
※詳しくはホームページ・SNS等でお知らせします。

参加費 1,000円 ※中学生以下無料

当日の昼食・デザート付 / 脱穀後にもち米 or きぬむすめ いずれかのお米 1升プレゼント

海山に囲まれた豊かな土壌を持つ田んぼで、今年もとてもありがたいがたい近所さん農業スペシャリストの山中さんご夫妻の力を全面的に借りて、農業や化学肥料は不使用の「はで掛け米(天日干し米)」のはで掛け作業、脱穀作業を行います。皆で一緒に昔ながらの「はで掛け」の作業をやってみませんか？



はで掛け体験募集

日替わり店長カフェ紹介

10/27(日) 11:30 - 15:00

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米にすまいるびとsanin仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶&甘酒ボウル。ドリンクメニューとして、ノンカフェインのオリジナル野草茶の他に、梅酵素茶と生姜ゆず茶もご用意しています。いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験についてます♡

- おむすび&お味噌汁セット ￥1,000
ミニスイーツ付き
- 甘酒ボウル&野草茶セット ￥1,300
- ドリンクメニューはどれも ￥1,000
- ￥500



「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQ は 4名～12名 で個別のご予約を承ります。詳細は WEB サイト等でご確認ください。

お得な特典たくさん！ 淀江の宿今津田中家 2024 年度会員募集

年会費

継続会員 2,000円

新規会員 3,000円

瓦版継続発行を応援してくださる会員の皆様を募集しています。
お得な会員特典も！ご協力よろしく願いいたします。

会員特典

- 瓦版の送付 継続会員：瓦版 13号～24号 新規会員：瓦版 1号～24号
- お米 1升 (約1.5kg) プレゼント(きぬむすめ or もち米)
・新米ご希望の方は2024年11月以降
・お米は基本当宿にてお渡し(郵送料別途)
・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券 1,000円分プレゼント
- 毎月1回 各種 10% 割引券
(飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- 瓦版 2周年イベント (2025年3月開催予定) 無料参加！



お申込み
フォーム



楽しかった経営ゲーム

夏休みのサマーキャンプに行ってきた。去年いった時にはルールがあまり分からなかったけど今年はがんばろうと思いましたが、今年はルールが理解できて、楽しくできた気がして、すごくおもしろかったです。売る値段や、買う値段をどうするか、社員の人を雇うかアルバイトを雇うかなどのようなことを考えたりするのが特に楽しかったです。イベントの時はサイコロをふってきめるため奇想天外なことがおこります。勝ったか負けたかはまったく分からないです。だけど、勝ち負け関係なしにすごく楽しかったのでまた行きたいと思いました。それに去年は一回しかできなくて少し短いと思ったけど今年はそれ以上にできたのでうれしかったです。今年一番の思い出です。今年もすごく楽しかったので絶対に来年も行きたいです。(のぞみ)



イモリーダー

一番楽しかったのは、海で貝を探したりしたことでした。また、芋堀りが楽しかったです。いつもと違うので、さらに楽しく感じました。ここにあるんじゃないかと予想したら、必ず当たるので、イモリーダーと呼ばれていました。嬉しかったです。お芋は焼いて食べました。おいしかったです。(はると)

楽しかったキャンプ

海に行って、泳ぎにきました。おどろかしたりビートバンで泳いだり貝がらを拾いました。そのあとにしおを作りました。しよっぱかったです。そのあとにごはんをまるめて葉っぱにのせました。とても楽しかったです。(こはる)



米は火加減!!

僕の鳥取キャンプでの一番の思い出は釜戸での火起こしである。去年は火が薪に燃え移らず、上手くお米が炊けなかった。そして、前回のリベンジをすべく、一樹、希、悠真の経験者三人で挑んだ。皆が経験者なので、種火に落ち葉、小さな薪へと火を大きくするという作業が驚くほどスムーズに進み、去年の半分以下の早さで火が大きくなった。今回良かった点は、皆が落ち着いて作業できたことだ。前回は火が小さいと焦って、やみくもに落ち葉や薪を追加していたが、今回は火が小さくても落ち着いて、必要な量だけ加えることで、素早く火を大きくできた。逆に改善点は、火加減を安定させられなかったことだ。強火にしなければいけないときに弱火になったりしていた。次回は今回よりさらに上手に炊いてみせる！(いつき)



楽しいサマーキャンプ

僕は、最終日に行った経営ゲームが楽しかった。理由は、少し難しいところもあったけれど、売り上げで利益を上げることもできて、楽しかったし、お金が減っていったのも、悔しいけど楽しかった。経営ゲームが楽しくやれてよかった。部屋では、カードゲーム「人狼ゲーム」をやって、みんな仲良くなれたし、楽しかったので、よかった。花火を久しぶりにできて、とても楽しかった。来年度のサマーキャンプでもう一度できたらうれしいです。最初に来た時は不安だったけれど、二泊三日、とても仲良くできて楽しかったです。来年もまた、このサマーキャンプで鳥取に行きたいです。(ゆうほ)



神戸から淀江へ！自然満喫キャンプ



い
ま
づ
た
な
か
や

淀江の宿
今津田中家
瓦版

第19号

2024.10 発行

笑顔あふれるサマーキャンプ (セカンドホーム 代表 生田瞳)

昨年に引き続き、今津田中家をベースに、この土地を愛し、根ざして生きる人たちに支えられながら、2泊3日のキャンプを終えました。

縁あって昨年よりこちらでサマーキャンプを実施させていただいております神戸の学習塾セカンドホームです。おうちのような空間で安心して成長する。がモットーのわが校。みなさんのおかげで、子どもたちは居心地のいい新たなホームでたくさんの成長の種を持ち帰っています。それを証拠に昨年からのリピート率100%！新たな仲間も加わって、小学2年生から高校1年生まで総勢12名で笑顔あふれる3日間を満喫しました。

自然の恵みに感謝すること、経験を積み重ねることのでられる学び、人と人々が協力して繰り広げられる日々の営み。移り変わりの速い都会暮らしでつい忘れてしまいがちな大切なことを全身で受けとめた子どもたちの感想をどうぞご覧ください。

星空！

鳥取での3日間はどれも素敵で素晴らしい体験だった。その中でも特に印象深かったのは鳥取の星空である。

天候にも恵まれ、神戸では見られなかったような満天の星空を見ることができた。プラネタリウム(真)のような感じで、いつも見ている夜空より5倍くらい高く広く見えた。散歩をしている間の20分はほぼ上を向いていたので、宿に帰るころには首がバッキバキに。自身の首の限界を知ることができたと思う。

ただ一つ悔しかったのは、全く星座や星に関する知識がなかったこと。夏の三大角すら分からず星をただ眺めるだけになってしまった。予備知識があればもっと楽しめた筈だったのに。というか、星座早見盤を持って行けばよかった。あれがアンタレスでそれがアルデバラン。とか言いたかった！この小さな悔しさを胸に、来年こそ鳥取で星空観察にリベンジを果たしたいと思う。

思うよりやってみる

ぼくがいちばんいんしょうにのこっているのがシャワークライミングです。シャワークライミングをするまえは、

去年一回行って害虫とかクモがうにくっついていたりしていやだなと思っていました。それで、今回もくつつくのかなと思いましたがくつつかなくてたのしめました。シャワークライミングは水がつめたくてきもちいいから来年も行きたいです。(ゆづま)

成長できた人生の二回目

私はシャワークライミングをするのは人生一回目です。水が冷たかったことや一年前に見た虫もいてまだ慣れていないこともあったけどなつかしさもあって楽しかったです。そして自分でも成長したなど感じたところが二つあります。

一つ目が少し早く行動できたことで少し成長したかなと感じられたこと。

二つ目は一年前にはあんまり川の水に慣れることができなかったけど、今年は体全体でつかれたり、長い時間水の中にいられて少し耐性がついたのかな？と思いました。それも少し成長できたのかなと感じました。

最後に私にとってシャワークライミングは自然を沢山感じられる経験でもあると思うし、自然がどれだけ大切か知れるいい体験だと思います。来年もまた行ってみたいです。(ののこ)

楽しかった経営ゲーム

夏休みのサマーキャンプに行ってきた。去年いった時にはルールがあまり分からなかったのが今年はがんばろうと思いついた。今年はルールが理解できて、楽しくできた気がして、すくおもしろかったです。売る値段や、買う値段をどうするか、社員の人を雇うかアルバイトを雇うかなどのようなことを考えたりするのが特に楽しかったです。イベントの時はサイコロをふってきめるため奇想天外なことがおこります。勝ったか負けたかはまったく分からないです。だけど、勝ち負け関係なしにすくお楽しかったのでまた行きたいと思いました。それに去年は一回しかできなくて少し短かったけど今年はそれ以上にできたのでうれしかったです。今年一番の思い出です。今年もすくお楽しかったので絶対に来年も行きたいです。

(のぞみ)

イモレーダー

一番楽しかったのは、海で貝を探したりしたことでした。また、芋堀りが楽しかったです。いつもと違うので、さらに楽しく感じました。ここにあるんじゃないかと予想したら、必ず当たるので、イモレーダーと呼ばれていました。嬉しかったです。お芋は焼いて食べました。おいしかったです。

(はると)

楽しかったキャンプ

海に行って、泳ぎにきました。おどろかしたりビートバンで泳いだり貝がらを拾いました。そのあとにしおを作りました。しよっぱかったです。そのあとにごはんをまるめて葉っぱにのせました。とても楽しかったです。

(こはる)

米は火加減!!

僕の鳥取キャンプでの一番の思い出は釜戸での火起こしである。去年は火が薪に燃え移らず、上手くお米が炊けなかった。そして、前回のリベンジをすべく、一槻、希、悠真の経験者三人で挑んだ。皆が経験者なので、種火に落ち葉、小さな薪へと火を大きくするという作業が驚くほどスムーズに進み、去年の半分以上の早さで火が大きくなった。今回良かった点は、皆が落ち着いて作業できたことだ。前回は火が小さいと焦って、やみくもに落ち葉や薪を追加していたが、今回は火が小さくても落ち着いて、必要な量だけ加えることで、素早く火を大きくできた。逆に改善点は、火加減を安定させられなかったことだ。強火にしなければいけないときに弱火になったりしていた。次回は今回よりさらに上手に炊いてみせる!

(いつき)

楽しいサマーキャンプ

僕は、最終日にやった経営ゲームが楽しかった。理由は、少し難しいところもあったけれど、売り上げで利益を上げることができて、楽しかったし、お金が減っていったのも、悔しいけど楽しかった。経営ゲームが楽しくやれて、よかった。部屋では、カードゲーム「人狼ゲーム」をやって、みんな仲良くなれたし、楽しかったので、よかった。花火を久しぶりにできて、とても楽しかった。来夏のサマーキャンプでもう一度できたらうれしいです。最初に来た時は不安だったけれど、二泊三日、とても仲良くできて楽しかったです。来年もまた、このサマーキャンプで鳥取に行きたいです。

(ゆうほ)



オーダーメイド学習塾 SECOND HOME (セカホ)



SECOND HOME

兵庫県神戸市灘区日尾町2-2-11六甲第2ビル2階南
TEL09042747861

安心できる場所があるからこそ子どもたちは成長する。一人ひとりに徹底的に寄り添い、やりたい！を全力で支えるオーダーメイド学習塾です。

日々の学習のサポートはもちろん、子どもたちの夢をかなえるお手伝いも行います。キャンプやシーズンスクール、ワクワクあふれるイベントを開催。普段できない経験や出会いを通じて、視野を広げ自国のまた異文化への理解を深めることを大切にしています。

誰もが笑顔あふれる日々を過ごせるよう“2つめのおうち”セカホは、今日も温かい居場所で子どもたちの帰りを待っています。

手刈り・はで掛け

日時 稲刈り 10月5日(土)・はで掛け・手刈り 8日(火)
10:00 ~ 13:00 ※荒天の場合延期

参加費 1,000円 ※中学生以下無料

当日の昼食・デザート付 / 脱穀後にもち米 or きぬむすめ いずれかのお米 1升プレゼント

脱穀(最新の脱穀機・足踏み脱穀機や唐箕を使用)

日時 10月22日(火)以降 快晴が続いた後の日
※詳しくはホームページ・SNS等でお知らせします。

参加費 1,000円 ※中学生以下無料

当日の昼食・デザート付 / 脱穀後にもち米 or きぬむすめ いずれかのお米 1升プレゼント

海山に囲まれた豊かな土壌を持つ田んぼで、今年もとてもありがたいご近所さん農業スペシャリストの山中さんご夫妻の力を全面的に借りて、農業や化学肥料は不使用の「はで掛け米(天日干し米)」のはで掛け作業、脱穀作業を行います。皆で一緒に昔ながらの「はで掛け」の作業をやってみませんか？



はで掛け体験募集

日替わり店長カフェ紹介

10/27(日) 11:30 - 15:00

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米にすまいるびとsanin仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。カフェメニューは、オリジナル野草茶&甘酒ボウル。ドリンクメニューとして、ノンカフェインのオリジナル野草茶の他に、梅酵素茶と生姜ゆず茶もご用意しています。いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験ついています♡

- おむすび&お味噌汁セット ￥1,000
- ミニスイーツ付き ￥1,300
- 甘酒ボウル&野草茶セット ￥1,000
- ドリンクメニューはどれも ￥500



「淀江の宿 今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQ は 4名~12名 で個別のご予約を承ります。詳細はWEBサイト等でご確認ください。

お得な特典たくさん！
淀江の宿今津田中家
2024 年度会員募集

年会費

継続会員 2,000円

新規会員 3,000円

瓦版継続発行を応援して下さる会員の皆様を募集しています。
お得な会員特典も！ご協力よろしくお願いいたします。

会員特典

- 瓦版の送付 継続会員：瓦版 13 号～ 24 号 新規会員：瓦版 1 号～ 24 号
- お米 1 升 (約 1.5 kg) プレゼント (きぬむすめ or もち米)
・新米ご希望の方は 2024 年 11 月以降
・お米は基本当宿にてお渡し (郵送料別途)
・お米が不要の場合、淀江の宿 今津田中家の利用券 1,000 円分プレゼント
- 毎月 1 回 各種 10% 割引券 (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- 瓦版 2 周年イベント (2025 年 3 月開催予定) 無料参加！



お申込みフォーム



連載「淀江プロジェクト」物語 [第十八話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第18話：出張おむすび屋ひとむすび、脩の参戦、勇太郎・庭師になる

出張おむすび屋ひとむすびでお迎え

2018年の年の瀬クリスマススイブの前日に第1弾がスタートした「淀江プロジェクト」。2019年1月下旬に第2弾、3月下旬に第3弾、5月に第4弾、7月に第5弾を実施して、片付けから解体、そして再生へとフェーズが進んでいった。その2か月後の2019年9月23日(月)〜30日(月)の8日間、淀江プロジェクト第6弾を実施することとなった。

9月23日が父の3回忌で、洋子と、弟の衆とその妻篤子さんは21日(土)から淀江入りした。22日(日)には東京から洋子の息子義邦がやってきた。

23日(月)のお昼ご飯は、店舗を持たずイベントなどに出店している「おむすび屋ひとむすび」のおにぎりくん(6月にデンマーク人ヤコブくんが来た時におむすびを握ってくれた)に出張おむすび屋をお願いしていた。

鳥取のメンバー、そして遅れて関西のメンバーが続々とやってきて、どれもこれも魅力的な8種類のおむすびからそれぞれが好みのものを注文して、美味しく戴く。洋子家族とも会話が済み、プロジェクトは楽しいスタートとなった。

脩の参戦で電気工事が進む！

今回の淀江プロジェクト第6弾
今までの参戦者10名

- ★鳥取市浜村から
- 翔太郎(宮原翔太郎)さん
- やつだ(八田公平)さん
- ゆかちゃん(井川友香)さん
- ★鳥取県西部から
- おにぎりくん(小橋俊哉)さん
- もりさと(森田悟史)さん
- ゆってい(河津優平)さん
- てるちゃん(吉田輝子)さん
- ★関西から
- 姐さん(サハラクミコ)さん
- しょうきち(野崎将太)さん
- 勇太郎(河合勇太郎)さん

新たな2名

- ★鳥取市浜村から
- パーリー建築を浜村に呼び寄せた
- 中田(中田啓介)さん
- ★京都から
- 電気工事士の資格を持つ
- しゅう(大木脩)さん

洋子は23日(月)に皆を迎え入れた後、仕事のため24日(火)には大阪に帰ってしまったのだが、賄い飯を作りづづけてくれた姐さん(サハラクミコ)さんが工事の様子を都度都度隣に伝えてくれた。今回は洋子不在の中、キッチンやその隣の洋室の国道9号線側を大きい窓に替えるために開口、しゅう(大木脩)さんの参戦で、電気工事も進み、床工事や左官工事なども着々と進んでいった。

勇太郎庭師になる！

今回は裏庭の整備も行われ、木が切られ、砂利が敷かれた。

約50年前、洋子の弟衆が幼い頃にダイニングで食べたビワの実の種を窓から裏庭にポイッと捨てた、その種から育ったビワの木はデッキを設置する予定地にあったが、思い出の木として残すこととなった。

第2弾の際に参戦してくれた勇太郎(河合勇太郎)さんは、今回は裏庭の整備を中心にやってくれた。自分の今後の進路について悩んでいて、姐さん(サハラクミコ)さんにいろいろと相談したそう、最終日に皆に「庭師になる！」と宣言した・ということだった。

洋子は10月上旬まで、M社のシステム構築、E社新工場のお披露目の準備、滋賀での女性向け創業セミナーでの経営ゲーム講師など、大阪で怒涛の仕事があり、最終日も帰って確認することが出来なかったのだが、姐さん(サハラクミコ)さんはじめ、参戦してくれた皆さんのおかげで、工事は順調に進み、素敵な空間が出来上がっていった。

作者・田中 洋子

㈱ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてUターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第18話」



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家

〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1

TEL: 0859-30-3889

www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント

お店のポイントが貯まる！

